

フィールドセンターでは、ふれあいの森と学びの森のツアーを提供している。ツアーの大半は日本語で行われるが、英語でのガイドも可能なので尋ねてみるとよいだろう。

### **インタープリター**

すべてのガイドウォークは「インタープリター」が引率する。インタープリターは、ハイキングコースを進みながら、森の植物や動物が残した些細な手がかりを見せてくれる。ビジターが森林生態学について理解し、森に棲む生き物たちの相互依存的なライフサイクルを理解できるよう手助けしているのである。インタープリターにはそれぞれ専門分野がある。

### **ガイドウォーク**

インタープリターは、ふれあいの森と学びの森の両方で行われるガイド付きエコツアーを引率する。無料ミニプログラム（ふれあいの森での 30 分間のツアー）は予約不要で、季節に合わせて内容が変わる。学びの森での長時間のガイド付きの散策は、事前に予約する必要があり、料金もかかるが、森の立入制限エリアを探索することができる。学びの森では難易度の異なる 6 つのガイドウォークがあり、所要時間約 2 時間の手軽なフクロウルート（1.5 km）から、所要時間約 3 時間半のムササビルート（3.5 km）までである。ツアーの前に、ガイドが森林での安全について説明を行い、適切な服装についてアドバイスする。インタープリターは小道具や資料を使って、歩きながら森の中での生命のサイクルと進化について教えてくれる。

### **スノーシューガイドウォーク**

学びの森が一般公開されていない冬の間、フィールドセンターでは、ふれあいの森でのスノーシューガイドウォークを開催している。参加者は枯れ木のあいだをトレッキングし、インタープリターが動物の足跡や冬の風景の他の見どころについて教えてくれる。短い方のコースは約 2 時間、長い方のコースは約 3 時間かかる。用具は自分のものを持参するか、スノーシュー、ブーツ、トレッキングポールを低料金でレンタルすることもできる。